

通し番号	4430
------	------

分類番号	21-35-15-03
------	-------------

(成果情報名) ミカンハダニに対するスワルスキーカブリダニ剤の農薬登録の取得
[要約] 施設カンキツのミカンハダニに対し、スワルスキーカブリダニ剤（平成22年2月17日に登録拡大）は、高い殺虫効果がある。
(実施機関・部名) 神奈川県農業技術センター・足柄地区事務所 連絡先0465-29-0

[背景・ねらい]

施設カンキツの栽培におけるスワルスキーカブリダニ剤のミカンハダニに対する効果を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1 無加温ハウスで、ミカンハダニに対しスワルスキーカブリダニ剤を4月以降に放飼すると、高い殺成虫効果を示す（表1，2）。
- 2 放飼後、スワルスキーカブリダニの定着が確認できた（表1，2）。
- 3 温州みかんの花は、スワルスキーカブリダニの定着促進効果は期待できない（表1，2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 平成22年6月現在、スワルスキーカブリダニ剤のミカンハダニの登録内容は、2.5～10ミリリットル／樹（約250～1000頭／樹）、使用方法は放飼、使用時期は発生直前～発生初期、使用回数は－（制限なし）。
- 2 かんきつの施設栽培における登録である。
- 3 ラベルに記載された使用基準を守り、正しく使用する。
- 4 ハダニの発生密度が極端に低い時点での放飼など、使用方法によっては効果が得られない場合がある。

[具体的データ]

表1 施設カンキツにおけるミカンハダニに対するスワルスキーカブリダニの効果及び定着性の検討条件

品種	作型	放飼日 (生育ステージ)	1樹あたり頭数 放飼回数	100葉あたりの密度			試験 期間	平均 気温 (℃)
				処理区		無処理区		
				カブリダニ	ミカンハダニ	ミカンハダニ		
早生温州 (成木)	後期 加温	2/2 (開花期)	500頭 1回	13頭	0頭 (無発生)	設定 なし	2/2 ~ 3/12	22.0
不知火等 中晩柑 (成木)	無加温	4/21,28 5/8,5/14 (新梢伸長期)	250頭 4回	3.0頭	9.3頭	10.7頭	4/21 ~ 6/22	19.2
はるみ (ポット)	無加温	5/15,5/21 (新梢伸長期)	250頭 2回	57頭	37.6頭	42.2頭	5/15 ~ 6/23	19.9
はるみ (ポット)	無加温	8/14 (果実肥大期)	1,000頭 1回	80頭	861頭	1,076頭	8/14 ~ 9/14	25.8

表2 施設カンキツにおけるミカンハダニに対するスワルスキーカブリダニの効果・定着性試験(実施結果)

品種	作型	100葉あたりの密度			防除 <sup>2</sup> 効率
		処理区		無処理区	
		カブリダニ	ミカンハダニ	ミカンハダニ	
早生温州 (成木)	後期 加温	3頭	383頭	設定なし	—
不知火等 中晩柑(成 木)	無加温	17頭	2.7頭	185頭	98.0
はるみ (ポット)	無加温	34頭	2.8頭	448頭	98.6
はるみ (ポット)	無加温	10頭	0頭	1,124頭	98.3

$$Z \text{ 防除効率} = \{1 - (\text{無処理区処理前密度} / \text{処理区処理前密度}) \times (\text{処理区 処理後密度合計} / \text{無処理区 処理後密度合計})\} \times 100$$

[資料名] 平成20年度、平成21年度度試験成績書(カンキツ・キウイフルーツ)

[研究課題名] 新農薬の実用化試験

[研究期間] 平成20~21年度

[研究者担当名] 眞壁敏明